



議会報告

過去最大規模となった今年度予算。(仮称)第10中学校や下野谷遺跡の用地取得など、将来世代にツケを残すものとなりました。待機児童対策が前進し、児童虐待防止や生活困窮者の自立支援が進むこと、地域の支え合いのしくみづくりが具体化しつつあることを評価し、ネットは賛成としましたが、市の財政運用を厳しい目でチェックしていきます。

ハコモノ重視の一般会計予算が成立

が庁舎の立地に大きく影響しているからかもしれません。



(後藤ゆう子)

庁舎統合は丁寧な市民議論で

庁舎統合方針(案)決まる

4月1日に市より庁舎統合方針(案)が発表されました。

あれっ、それは昨年3月に発表されたのでは?と思われる方、昨年発表されたのは、庁舎統合(素案)でした。

当初の予定では、素案を基に4月1日に正式な方針として、発表されるはずでした。しかし新たに発表されたのは、唐突に方向転換された新たな「案」でした。

庁舎統合の基本方針は以下の3点

○田無庁舎を活用した「暫定的な対応方策」を当面の方策とする

○2033年(平成45年)度を見据えた庁舎統合をめざす

○「新たな用地(市中心エリア)」での統合を視野に検討する

耐用年数があと20年ほど残る田無庁舎をギリギリまで活用し、その間に市民への丁寧な情報提供や合意形成を進め、2033年を目途に真の庁舎統合をめざすとのことですが、先延ばし感が否めません。

突然の方向転換に議会は騒然、追及の末に庁舎統合方針特別委員会が設置されました。統合方針がなかなか決まらない背景には、合併した「旧保谷市民」「旧田無市民」の市民感情

市民説明会やパブリックコメントの受付が始まっています。市民サービスを低下させないことが前提ですが、地域感情を乗り越え、将来の財政を踏まえた庁舎建設の市民議論が必要です。

市民会館、中央図書館、田無公民館が合築複合化されます

庁舎統合(案)の発表の陰で、市民文化に関わる大事な計画が大きく動き出します。

老朽化した市民会館を取り壊し、その場所に市民会館、中央図書館、田無公民館の合築複合化施設を建築するものです。保谷庁舎の取り壊しに向け、その機能を田無庁舎敷地内の中央図書館、田無公民館内に移設するためのプランです。

市民会館の耐用年数が迫っているとはいえ、市民にとって突然の提案に感じます。新しい文化施設が新築されることは、この先あまりないことです。幅広い市民の意見をもとに、慎重に議論すべきです。(後藤ゆう子)

古くなった公園の再整備を市民参加で!

公園は、子どもからお年寄りまで、すべての市民に開かれた憩いのスペースです。ネットはこの3月議会に「市民参加による公園の再整備」を提案しました。子どもが思いきり遊べる公園、良質な緑のある公園、「コミュニティの防災拠点となる公園など、地域のニーズを反映したリニューアルが進められるよう、行政に働きかけていきます。

一方、「いこいの森公園」を中心に、緑町、谷戸町、住吉町などの大小51の公園の維持管理・運営が、一括して指定管理者に委託されることに決まりました。経費削減に加え、公園を活用したイベント等の実施も期待できるとのこと。どんな事業者を選定するのか、安全上問題はないか、市の責任があいまいにならないか、しっかりと点検していきます。

(かとう涼子)



ありえない! 慰安婦問題をめぐる意見書が可決

「慰安婦の強制連行はなかった。傷ついた日本人の名誉回復のため、国際社会に向けて積極的な発信を」「教科書で正しい歴史認識を周知せよ」との史実に反した意見書が、一部の議員から提案された。ネットは当然反対したが、自民、公明、次世代、維新、民主1人(2人退席)で可決。西東京市議会の良識はどこに?

議会トピックス

議会紛糾! 市民軽視?の合築複合

上記の合築案が執行部から示されたのは、3月議会半ば、予算特別委員会の直前。このタイミングでの行政説明に「議会軽視だ」「なぜもっと前に説明しなかったのか」など議会は紛糾。

多くの市民が利用する図書館、公民館をどこに配置するかは、市民生活の質にかかわる大問題のはず。丁寧な意見聴取が必要であり、市民軽視で進めてはならない。

議会トピックス

地域の居場所づくりが一步前進 (仮称) いこいなカフェ

高齢化が進み、市内にも空き家がどんどん増えています。そんな空き家を活用して身近な地域の居場所づくりができないかと考えていたところ、集いの場「(仮称)いこいなカフェ」の整備が、西東京市で検討されていることがわかりました。

「空き家を活用した居場所づくり」は、ネットの最重要テーマの一つです。今年度は、空き家調査なども視野に検討を進めていきます。

(かとう涼子)



生活者ネットワーク 3つのルール

選挙はカンパとボランティアで行います。

議員は最長3期でローテーション。議員を職業化せず、誰もが議員になることで特権化しません。

議員報酬は市民の活動資金として使い、お金の流れは公開します。